



平成27年11月9日

各 位

会 社 名 J Kホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 青木 慶一郎  
(コード：9896、東証第1部)  
問 合 せ 先 取締役財務部長 渡辺 昭市  
(TEL. 03-5534-3803)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年5月15日に公表した平成28年3月期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	345,000	5,000	4,600	2,800	87円94銭
今回修正予想(B)	335,000	4,000	3,700	2,200	69円10銭
増減額(B-A)	△10,000	△1,000	△900	△600	—
増減率(%)	△2.9	△20.0	△19.6	△21.4	—
(参考)前期実績 (平成27年3月期)	331,301	4,333	4,059	3,261	103円66銭

#### 2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が当初予想を下回り、これにより営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益も当初予想を下回りました。

新設住宅着工戸数が増加基調に転じるなど、住宅業界にも回復の兆しが見えてきたものの、回復度合いは緩やかなものに留まりました。

また、当社グループの主力商品であります合板の市況も総じて軟調に推移したこと、合板製造・木材加工事業にセグメントされる企業群においては、円安等による輸入原材料価格の上昇を販売価格に十分転嫁できなかったことなどが、減収減益の主要因であります。

第3四半期連結累計期間以降につきましては、新設住宅着工戸数が前年同期を上回るものと予想され、合板市況も本年6月を底に上昇基調で推移していることから、概ね当初予想に近い業績を確保できるものと予想しておりますが、第2四半期連結累計期間の未達分をカバーできるほどの回復は見込み難いため、売上高、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益の通期予想を減額修正いたします。

※ 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上